

- タウン情報 -

まきがわ



今年はずき年、
アイドルの座を
奪還します！

ネコ:嘉月ちゃん(1歳) / ウサギ:千歳ちゃん(4歳)

あけましておめでとうございます

新年にあたり地域の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

今年の課題の一つに、四熊・川曲・中野への路線バス廃止に伴う移動手段の検討があります。基幹路線の減便につながるものでもあり、現在、住みよい菊川をつくる会の生活環境部会・福祉部会と周南市公共交通対策課とで菊川地区の移動手段の在り方が検討されています。

今一つは、この度、菊川支所・市民センターの整備について「令和8年度以降を目安に整備を進める。加見分館・富岡分館の建て替えは行わない」との方針が市のほうから明確に示されました。

具体的な動きとして、地域づくり推進課と菊川支所・市民センター整備検討会議が協力して、地域住民の拠点となる施設がどうあるべきか、きめ細かなニーズ調査として全世帯を対象としたアンケート調査が、今年の3月末以降に実施される予定となりました。

将来にわたっての施設になります。菊川地区の多くの皆様の声が反映されたものとなりますよう、アンケートへの積極的なご協力をどうぞ心よりお願い申し上げます。

住みよい菊川をつくる会

会長 小林 雄二

住みよい菊川をつくる会 次回発行は令和5年4月です。

タウン情報 まきがわ (182号)

2023年1月1日発行

発行 / 住みよい菊川をつくる会 問合せ / 菊川市民センター 〒746-0082 山口県周南市大字下上2146
☎ 0834-62-2801 ☒ kiku-ko@city.shunan.lg.jp

菊川まつり代替事業開催

11月20日(日) 菊川小学校にて、菊川まつり代替事業が開催されました。天気にも恵まれ、1,000人近い人々が「餅まき」と「宝探しゲーム」を楽しんでおられました！また、地域の方々が寄付して下さったお野菜を景品に、サプライズ福引抽選会を行いました。

また、12月2日(金)までを参加申込期限としていた福引大抽選会にも沢山のお申込みをいただきました。同日の夕方に、菊川まつり実行委員会で福引を行い、58人の当選者が決定されました。

少しずつコロナ禍以前に近い規模のイベントを行うことが可能となってきました。今後についても、感染規模等を鑑みながら、より住みよい菊川をつくるために出来ることを実行してまいります。来年度の菊川まつり(代替事業)もどうぞお楽しみに!!



数字で見る菊川 (11月末の人口等)

世帯 3,343 世帯 / 人口 7,843 人 / 男 3,839 人 / 女 4,004 人

第11回 菊川ふるさとウォーク開催

12月3日(土)に住みよい菊川をつくる会健康・体育部会主催で、第11回ふるさとウォークが開催されました。

今回は四熊地区の貴重な史跡や自然を満喫できるコース設定となっており、四熊下権現社などをはじめとした四熊地区の魅力を参加者47人で堪能。希望者のみ法師ヶ岳のひまわり観音像も見学し、そこから菊川全土を見渡せる絶景を目にすることができました。

来年行われる、第12回菊川ふるさとウォークは小畑地区での開催が予定されています。地元愛を育み、地域の連帯を強化、そして健康の増進と体力の強化を目的としているイベントです。皆様のご参加、心よりお待ちしております！



周南市美術展開催！ 菊川陶芸教室の木本さんが大賞受賞

9月28日(水)、周南市美術展が3年ぶりに開催。最高賞となる市美展大賞に、日頃菊川市民センターで活動している菊川陶芸教室の木本多津子さんの立体「慈愛」が選ばれました。その他に、菊川陶芸教室から、林千代さんの立体「シグナル」、寺田晃さんの立体「あまのがわ」が奨励賞に選ばれました。木本さん、林さん、寺田さんおめでとうございます!!



すい さん ⑤
水のり徳
きよ さん ⑤
峡とも友
い さん ⑤
井ち池
ふじ さん ⑤
藤き菊



・まずは二十歳を迎えられおめでとうございます。

(藤・菊) ありがとうございます。

・二十歳を迎えられたお二人ですが、日頃は何をされていますか？

(藤) 自分は地元の工場で製造オペレーターとして働いています！半導体を使用する「石英ガラス」を製造しています。

(菊) 自分は美容師を目指し、通信学校や、新南陽にある「フアンタステイックBへア」でアシスタントとして働いています。

・お二人の小さいころからの夢は何ですか？

(藤) 小学2年生の時に、当時の南陽工業が甲子園に出場した姿を見て、自分も甲子園に行きたいというのが夢となりました。その後は南陽工業に入学し、甲子園を目指し高校球児として頑張りました。



菊川 深訪

最終回 「菊川探訪」を終わるにあたり

私渡邊修(岡上野)が永きに渡り、「菊川探訪」を書き続けたので、最後にこの菊川を愛する人達には是非 散歩していただきたい神社、祠を紹介します。古くから、信仰を集め、この集落を守り、人々の心の支えになっているので、現在まで残ったのだと思います。ご先祖の「置き土産」であり、これから、小さな思いやりを持って、次世代に繋げてほしいと思います。

菊川流域の川下から、順番に私の思い(根拠はないかもしれないが)で紹介します。

一、向土井の祇園社(八坂神社)

陶氏がこの地を治めるころから、この地に京都を模した「風水説」による町作りとして、東に祇園社を建て、東からの疫病を防ぐ役割を信仰の対象とした。

二、内谷の妙見信仰

大内氏が山口を治めるにあたり、遠い大陸の先祖の地を感じ、広大な夜空を見ながら、不動の北極星が信仰対象であった。その為には、形の良い山頂に祠を建て、星空と遠くの故郷に思いを馳せた。内谷には、そのような聖地に相応しい山がある。

(菊) 小学4年生時の2分の1成人式の記録を見てみるとパン屋になりたかったみたいです。理由は恐らくパンが好きだったからだと思います(笑)中学生になってからは男性の美容師ってカッコよいなと思うようになって、現在の自分に繋がっています。

・菊川での思い出を教えてください

(藤) 中学校の運動会の時に、応援団を務めて、セーラー服を着ながら応援をしていたことが思い出ですかね(笑)

(菊) 自分もその年の運動会での組対抗リレーが思い出深いです。自分が紅組で、峡水くんが白組だった運動会でした。組対抗リレーの序盤、自分がいる紅組の子がバトンを落としてしまい、アンカーの自分が走り出す時には負けが確定していた状況で、相手である白組の峡水くんが白い旗をぶんぶん振り回し、紅組頑張れ！と自分を応援してくれたことが一番の思い出です。

(藤) そんなこともあったね。懐かしい。

・二十歳になるにあたって思うことはありますか？

(藤) 社会人1年目の時は、言われたことをしっかりとこなすことで周りの期待に応えられていました。でも2年目になってからは、周りから求められるレベルも上がり、自ら考えて行動に移すことがより必要とされるようになりました。自らで考え、

行動することには、当然重い責任が伴います。一人の大人として、責任感をもって自らの行動を選択していきたいと思っています。

(菊) 幅広い客層を相手に接客をすることが、美容師という仕事には求められます。しかし、接客するにあたって、自分はまだまだ知らないことが多いと日々感じています。今はまだ若いから許されていると思うのですが、いつまでもこのままではいられません。

沢山の知識や見識を深めていくためにも、色々なことに興味をもって勉強していきたいと思っています。

・これからの目標を教えてください。

(藤) バイクの免許を取って、バイクを買うこと。そしてそのバイクに乗って日本一周することです。その後は貯金も頑張っていきたいと思っています(笑)

(菊) 自分はアシスタントを卒業して、一人前のスタイリストになることです。その為には国家試験に合格しなければならぬので、技術面においても知識面においてもしっかりと勉強を頑張ります。ゆくゆくはトップスタイリストとなって、周南市内に自分のお店を出したいと思っています。

本日はお忙しい中インタビューにご協力いただき、ありがとうございました。

三、岡上野の不動明王信仰(城山)

不動明王は空海(弘法大師)が中国から持ち帰った仏であり、岩屋寺は空海が建立した寺院と伝えられている。不動明王は火災を背負い、悪に対する憤怒の表情であるが、父親の様な包容力で、女性や戦国武将に愛された仏である。

四、別所の日吉神社

都作りに欠かせないのが、鬼門(北東)からの鬼(災禍)を防ぐことである。

京都では、比叡山、日吉神社(山王)であり、菊川ではこの地にあたる。裏鬼門(南西)は、山崎八幡宮や神上神社にあたるのであろう。

五、遠川曲の三嶋神社

最後に、北にある川曲に「三嶋神社」がある。本社は、瀬戸内海の「大山祇神社」と静岡の「三嶋大社」である。後者は、源頼朝ゆかりの神社であり、「三嶋大社」「箱根神社」「伊豆山神社」が参拝され、「伊豆山神社」は源頼朝と北条政子が愛を育んだところである。京都では「貴船神社」であり、菊川の原流を清めて、菊川住民のいとなみを見守っている。



渡邊修さん(中央)及び編集者一同

菊川中学生が地域行事を企画!

菊川中学校生徒会が、菊川に住む人々と中学生が触れ合う機会をつくる目的で、「菊川中グラウンドゴルフ大会生徒会長杯」を企画しました。企画立案から当日に向けた準備まで、菊川中学校学校運営協議会(コミスク)や菊川中学校PTA、住みよい菊川をつくる会夢プラン部会の手を借りながら、生徒会をはじめとした中学生達が主体となって行いました。開催予定日だった11/13(日)は天気に恵まれず、残念ながら当行事を実施することは叶いませんでしたが、中学生達の熱意ある姿や行動力は筆舌に尽くしがたいものでした。企画立案や準備をした中学生の皆さん、大変お疲れ様でした!!